

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立（白脇小）学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 学校運営を知る。
- ・子供たちにつけたい力を知る。
 - ・教育活動の流れを知る。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・運営の基本方針については共有し、協議会としては「人としての基本であるあいさつ」「一人一人に寄り添った教育」を大切にしていってほしいことを確認した。
- ・基本方針を具現化していく方策の一つとして、地域の人々や保護者のサポートの必要性について理解した。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・基本方針を具現化していくための方策としての、地域学習や体験活動、学習支援活動の現状を知るとともに、人材発掘のため、周知の方法や範囲などについて熟議した。
- ・一人一人の学習に寄り添うための学習支援活動や、地域の人材を活用して危険箇所、道路冠水場所の把握をするなど防災面での支援活動について熟議した。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・協議結果や学習支援活動の取り組みの様子などをホームページやCSだよりで発信したが、十分とは言えない。また、認知度はまだ低い。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・コミュニティ・スクールについて、効果的な情報発信の方法を考え発信し、保護者や地域につながるの意識をもってもらう。
- ・教育目標につながる学校、家庭、地域それぞれが実行できる支援についての熟議と、地域の組織（自治会、シニアクラブ、子ども会等）を巻き込んだ支援システムの構築。